

市民助け合いネット

仲間通信

【第51号】

発行

NPO法人 市民助け合いネット

代表 鎌倉 常雄
〒270-0123 流山市若葉台3-131
☎ 04-7153-5733

私たちの仲間

令和8年5月末現在
総数 1,082名
内訳
提供会員 396名
利用会員 686名



高齢化の進展による 新たな課題解決に取り組みます

令和八年五月二十九日(金)ふれあいの家「えがお」に於いて令和七年度社員総会を開催し、令和七年度活動報告並びに決算報告、令和八年度の活動計画並びに予算が満場一致で承認されました。

昨年一年間の活動を振り返ると日々の困りごとで圧倒的に多い依頼は車による外出支援で承認されました。公共交通機関が利用できない外出困難者がますます増えていることに驚かされます。高齢化により通勤需要が減ったバス路線の廃止、外出困難

者の足として期待されているグリーンスロモビリティ(通称・グリスロ)も実証実験の段階で外出困難者の解消にはまだ道半ばの状況にあります。市民助け合いネットは、外出困難者を支援するため福祉有償運送事業を始めて十八年になります。

その間、登録運転会員の皆さんのご尽力もあって一件の人身事故もなく活動を続けてこられました。このことについて改めて運転会員の皆さんに心より感謝申し上げる次第です。福祉有償運送事業は三年毎に更新が義務付けられており、昨年度、登録運転者二十名で更新申請し、今年三月に認可を受けることが出来ました。

福祉有償運送事業は現在、乗客は介護認定を受けていないと利用できないことになっていますが、タクシードライバー不足により二〇二四年以降、「日本版ライドシェア」が導入され、タクシードライバーの管理下で一般のドライバーが自家用車を使い有償で送迎する移動サービスの導入がはじまっています。

ライドシェアの普及と合わせ福祉有償運送事業の乗客の縛りが緩和されることで外出困難者の課題解決に繋がることを期待したいと思います。今、ボランテニア(提供)会員の高齢化と新たにボランテニア活動を始めようとする入

会者が少ないことは数年前から大きな悩みになっていました。これまでボランテニア会員の中心的な役割を担ってこれていた戦後の「団塊の世代」が日常生活の困りごとを支援する側から支援される側に移行することで慢性的なボランテニア不足が予想され、助け合い活動は大きな曲がり角を迎えています。

当法人の提供会員は現在、三百九十八名が登録されていますが活動に協力いただいている会員の人数は七十名ほどです。現状、活動休眠状態になつていて高齢の提供会員を利用会員に登録替える必要があります。

サービス種別	実績件数	(比率)
ア. 外出支援(車)	3,044	85.2
イ. 対人支援	153	4.3
ウ. 家事支援	109	3.1
エ. 庭の手入れ	145	4.1
オ. 犬の散歩	4	0.1
カ. その他	115	3.2
合計	3,570	100%

昨年度活動実績

ボランテニア不足は、私たちに限ったことでなく助け合い活動に取り組んでいる団体の共通した課題です。現状では課題解決の特効薬的な解決策はありません。ボランテニアの確保は、地道に根気よく募るほかないのが現状です。会員の皆さんの知人やご近所でボランテニアに関心のある方がおられましたら一言、お誘いいただければ幸甚です。

令和7年度 活動報告

助け合い活動

会員数は、前年から二十二名減となりました(利用会員が三十名減、提供会員八名増) 今四月末現在会員数は千八十二名。

助け合い活動件数は、一面で報告したとおり全体では昨年より減少していますが車による外出支援は昨年から増加しており車十人による外出支援が依頼件数の九割を占めており、行き先の殆どが病院への通院が占めています。

移動困難者対策はますます深刻さを増しています。また、終活と

ふれあい活動

ふれあいの家「えがお」は、利用者数が年間で六千五百七十五名で過去最高の利用者数になりました。累計で五万五千九百四十六人の方に利用いただきました。

野外活動として市所有のバスを利用してお花見、歴史探索の旅行を実施しました。

また、認知症、障がいをお持ちの方および介護をしているご家族の方に寄り添う「えがお談話室」が開催から十年経過した令和七年八月に百回を迎えました。

して家屋・家具の処分やリフォームの潜在需要が見込まれますので、これに応えて行きたい思います。

行政からの受託事業

高齢者外出支援

流山市の高齢者福祉政策の一環で外出困難者向けの車による外出支援サービスを受託しています。

令和七年度は延べ七百六十一人の方の外出支援をしました。

自家用車による外出支援活動は三年毎に国交省の認可を受けなければなりません。令和七年はその更新年度にあたり今年三月に登録運転者三十名で申請し認可されました。また、四月七日に事故の無い安全運行と運転会員の健康予防をテーマに登録運転者を対象フォロアアップ講習会を開催しました。

公民館の管理運営

流山市の「初石公民館」と「南流山センター」を指定管理者として管理・運営を任されています。

令和七年度の利用者は両公民館合計で二十万人超となり昨年度から二万人を超える増加となりました。

自主事業は、当法人の「多世代が交流し、お互いが支え合い、助け合うまちの実現」の方針に沿って多世代交流や子供向けやシニア向けイベントを中心に自治会と協働で取り組み、地域の活性化に努めています。

交通安全教室

市内の保育園・幼稚園および小学校で延べ二千三百一人の園児・生徒に対して指導員十名で「交通安全教室」を開講しました。

内容として、「道路の正しい歩き方・道路の渡り方」「自転車の正しい乗り方」などを指導しました。

会員交流会のお知らせ

会員の皆さま！元気にお過ごしですか？
この度、会員同士の親睦を深めるために、会員交流会を開催することにいたしました。

- 開催日時:令和8年10月25日(日)11時30分~14時30分
- 開催場所:初石公民館・2階ホール
- 会費:1000円(軽食・飲み物、景品ほか用意しています)
- 参加を希望される方は市民助け合いネット事務所に電話で申し込みください。☎04-7153-5733



上野公園花見&都内観光バス旅行



フォロアアップ講習会の講義風景



南流山センターのフルーローズコンサート

事務所からのお知らせ

- 助け合い活動は提供会員のボランティアに支えられています。利用・提供会員さんは「二人喜ぶ関係」を大切にしてください。
- 生活支援の依頼は、遅くとも1週間前にお願ひします。急な依頼、当日の依頼は、避けていただけるよう、お願ひします。
- 電話で依頼するときは、先ず、お名前を受付け担当にお伝えください。
- 8月13日(木)~8月16日(日)は、お盆休みとさせていただきます。

